



公益財団法人都市活力研究所と一般社団法人うめらくは、共同でトークイベント「キタ再発見の会」「うめらく未来ミッション」を開催します。「キタ再発見の会」は、キタエリアで多くの時間を過ごされる方に、是非キタエリアの豊富な魅力を知っていただき、もっと好きになっていただくきっかけとして開催しています。「うめらく未来ミッション」は実際に地域で活動している方と、地域で活動をしたい人をつなぐ交流の場として定期開催しています。未来にミッション(使命)を感じて活動する方々がつながり合うことにより、地域活性化仲間となり、実践のきっかけとなりますよう、皆様お気軽に立ち寄っていただき、夜のひとときにごストークや意見交換を愉しんでいただければ幸いです。皆様のご参加をお待ちしております。

第11回キタ再発見の会×うめらく未来ミッション (vol.19)

□テーマ 『福祉・防災 NO.1 を目指して！菅北地域の過去今未来』

□コーディネーター：一般社団法人うめらく 代表 山田摩利子

□ゲストスピーカー：菅北地域 板坂由美子 様

西野仁 様

瀬尾晃司 様

□日時 2020年9月14日(月) 18:30-20:00

□方法 オンライン会議システムZoomによる開催

前半では、菅北地域で地域活動をされている方をゲストスピーカーとして「菅北地域の過去今未来」についてトークセッションを行います。

後半では、参加者の方からの質問を受け付けます。

菅北地域の表と裏を知り、新たなまちの価値を知るきっかけとなる地域の交流の場として開催します。

山田：今日お越しいただきました菅北地域で活動されておられます3名の方をご紹介します。

瀬尾：菅北地域の副会長を務めております瀬尾と申します。緊張しておりますので、ゆっくりしゃべりたいと思います。

西野：菅北地域の副会長を務めております西野と申します。よろしくお願ひいたします。

板坂：こんばんは。菅北地域で地域福祉コーディネーターをしております板坂と申します。

山田：みなさんは菅北地域には幼い時からお住まいでしょうか。

西野：ほんと瀬尾さんは幼稚園時代から菅北地域で育ちまして、先輩・後輩の間柄です。

山田：菅北地域の特徴を教えてください。

西野：菅北地域には日本一長いといわれる天神橋筋商店街をはじめとして、10弱の商店街組合がございます。最近ではウラ天満と呼ばれる飲食のまちでもあります。また交通の便もよく天満市場もあるので住みやすいまちだと思います。

山田：最近、天満で人気のウラ天満と言われるエリアの飲食店には地元の方も行かれるのでしょうか。

西野：新型コロナウイルス流行前はよく行っていました。

山田：そのウラ天満には商店街の組織というのはあるのでしょうか。

西野：ないですね。盛り上がるのはいいのですが、問題も発生します。ここ10年前から急にエスニック調の店舗が増えましたが、それまでは長く営業されているお店がありました。

山田：何がきっかけでそうなったのでしょうか。

西野：聞くところによると、いわゆる仕掛け人が他所から来られたそうので、1店舗ずつ誘致したようです。

山田：多様性を受け入れる寛容なまちも菅北の特徴ですね。それでは次に、歴史についてお伺いします。商店街は昔からありますよね。またお店をされている方々は近隣にお住まいだったのでしょうか。

瀬尾：お店をしている人はそこ(商店街の店の上)に住んでおられました。私は呉服店をしていましたがもう店を止めてサラリーマンをしています。お店はここ20年で半分ぐらいの方が入れ替わっています。

山田：菅北地域が新しく活気を取り戻したのは、住宅も整備されたということですがその要であるローレルハイツ北天満の話に移りたいと思います。

西野：その前に菅北地域の基本情報を紹介します。地域内人口は約1万人、6千世帯で高齢者人口は約2,400人です。11の町会があります。この中で地域内人口の約1/3を抱えるマンモスマンションがローレルハイツ北天満です。大阪市内でも2番目に大きい規模のマンションです。1979年に竣工しましたので築41年です。私はこのマンションで生まれ育っています。住民約3,500人に対して70歳以上の高齢者が約850名ですから、高齢化が進んでいます。このマンション自体が1つの自治会(町会)を持っています。町会加入率がなんと89%です。

山田：すごいですね。ちなみに菅北地域の町会加入率はどれぐらいでしょうか。

西野：30%弱だそうです。

山田：それは北区の平均的な数字かもしれません。ローレルハイツ北天満では町会に無理やり入らされているというわけではないのですよね(笑)。

西野：それに近いかもしれません(笑)いや魅力のあるマンションということ。マンションの自治会費は住民の意見を聞きながら周辺に比べて安く設定しています。

山田：紹介スライドの中で、「菅北地域で行われている各種行事(地域大運動会・地域カーニバル・敬老会等)に積極的に関わり、地域との連携を図っています」とありますが、マンションの中だけでなく地域とも連携を図りながらされているということですね。次のスライドにある「自治会の理念」で最もお伝えしたいことについて教えてください。

西野：いろいろと書いていますが、『新たな担い手探しのハードルはできるだけ低く』としているのは、高齢化が進んでいるからです。若手主体にやっていきたいと思っているからなのですが、やはりどうしても若手の参加率は非常に低いです。基本的には、無理なく自由な時間で参加していただければいいということをもっとにしています。

山田：先ほど高齢者の割合が高いとのことでしたが、高齢者の見守り対策などどのようなことをされているのでしょうか。

西野：高齢者が家の中で亡くなるケースがあります。それで「ふれあいネットワーク」といまして毎朝有志の方が集まってご希望の方に電話で安否確認をしています。

山田：いわゆるモーニングコールですね。

板坂：先日、部屋の中で熱中症で倒れている方を見つけました。

山田：高齢者が安心して住めるマンションということですね。

西野：こういう取り組みをしているのもあり、築40年以上経っていますが資産価値が売り出し価格より上がっています。

山田：他には認知症予防もされているとか？！

西野：どこの地域でもやられている「百歳体操・はつらつ脳活性化教室」ですが、このマンション内でも行っています。

山田：この「いきゆうクラブ」とは何ですか。

西野：地域で行われている食事サービスのことです。これもローレルハイツ北天満内で行っておりまして、すべてメニューはここにお住まいのおばちゃんたちによる手作りです。

板坂：お出汁もとりまして、カレーは大鍋でつくりまして。サポーターは16人程度で、60人ぐらいに食事を提供しています。

山田：ローレルハイツ北天満の年間スケジュールにはたくさんの行事が書かれていますね。

西野：有名などころでは、4月の「鯉のぼりあげ」というのがあります。14階のバルコニーで一気に鯉のぼりをあげます。また10月のローレルカーニバルというのは、地域のお祭りをマンションの中でやってしまうというものです。

山田：これらをやっているのも高齢者ですか。

西野：主にはそうです。力仕事もされます。ほくたち40歳代は若手です。地域と関係なくマンションだけのクラブ活動もたくさんあります。

山田：その他、防災にも力を入れておられるんですね。

西野：一昨年の大阪府北部地震のときにはダメージはほとんどなかったのですが、エレベーターは使えなくなりました。それで高齢者が身動き取れなくなるという問題が起こりました。しかし隣近所が顔見知りなので、助け合いはできていますと思います。

山田：瀬尾さんの地域での役割を教えてください。

瀬尾：菅北地域の子どもの会の会長です。キャンプは西野さんがしている青少年指導員のほうでしています。

西野：はい、私は青少年指導員の代表をしています。今、話がまじったキャンプでは60~70名をバスで連れて行きます。去年は和歌山県

の紀北にある青少年の家に行きました。

板坂: 校庭キャンプをされている地域はありますが、遠方への泊りのキャンプは菅北だけだと思います。子どもたちが仲良くなるきっかけになります。

山田: 最後に、板坂さんの地域福祉コーディネーターでの役割を教えてください。

板坂: 地域福祉コーディネーターの役割は、地域で困っておられる様々な世代の方の相談窓口になって、各機関につなげるといった役割です。

山田: 菅北地域の福祉会館に平日午前にはいらっしゃいますので、お困りの方がいらっしゃいましたら板坂さんにご相談ください。トークセッションはここで終了です。質問のある方はZoomのチャットに入れてください。

質問: 天満市場は日常の買い物に使われますか?

板坂: 私は日常的に使います。お勧めは入ってすぐの八百屋さんとか裏口すぐのキムチ屋さんとか、地下に降りてすぐの八百屋さんもありです。

瀬尾: お肉は1階のモリタさんが安くておいしい。1階中央の魚屋さんには4時を過ぎると刺身が半額になります。

山田: 天満市場以外でお勧めのお店を教えてください。

瀬尾: 商店街から一筋入ったところにある魚屋の2階の上川屋さんの湯豆腐がおいしいです。

西野: ローレルハイツ北天満の向かいにあるねほけ堂という駄菓子屋がお勧めです。

質問: ローレルハイツ北天満の防災訓練の様子を教えてください。住民の安否確認や水害を想定した垂直避難などの訓練は行われますか。

西野: 訓練自体は大規模にやっています、消防車も来ますし放水訓練もやります。ローレルハイツ北天満での防災訓練では垂直避難の訓練はしていません。高齢者に垂直避難してもらうことが難しいからです。今後の課題ですね。震災を想定して玄関ドアに安否を表示するマグネットプレートを各戸に配布しているので、防災訓練ではそれが表示されているか見て回る巡回作業をしています。

質問: ウラ天満の東側の倉庫は天満市場と何か関係があるのでしょうか。

西野: 基本的には関係はないです。そこは延原倉庫という大きな倉庫です。

山田: 今後新しい使われ方がされる可能性があるのでしょうか。

西野: 個人的には有効活用してもらえればと思っています。

山田: そういえば大型マンションであるローレルハイツ北天満の敷地にはもともと何があったのでしょうか。

西野: 菅北地域のほとんどの土地に東洋紡の関係会社や工場が立地していました。その工場の跡地にゴルフ練習場ができて、そのあとにローレルハイツ北天満が建ちました。

山田: では人口が一気に増えたということですね。小学校の受け入れは大丈夫だったのでしょうか。

西野: 菅北小学校の増築で対応できています。

山田: 菅北小学校は今年創立何周年ですか。

西野: 今年が99年ですので来年が100周年です。

山田: 来年は節目の年ですね。何かされるのでしょうか。

西野: 北区の他の小学校と同様に式典をする予定です。今日は会長に出席していただく予定でしたが叶いませんでした。すごくいい人なのですが、シャイなのでですね。

山田: 地域に関わるきっかけは、地域の人々が門戸を開いてくださるのが一番の近道だと思います。子どもがいる人はPTAを通じて関われると思いますが、そうでない一人暮らしの若い人々にも地域に関わってもらえればよいですね。

西野: ぼくらはそんなに若くないですけどもね(笑)。住民が地域に参加しない原因は1つです。いわゆる学者さんは地域コミュニティに魅力がないとかおっしゃいますけれども、では地域に入ったことがありますかといった。地域の中に入ってわかることは情報格差しかない。いわゆるデジタルデバイドということが起きていて、会長方が持って帰った情報を発信する能力に長けていない地域がすごく多くあります。それで地域のすみずみまで情報を行き渡らせることができない。

山田: そういうところには若手のサポートが必要ですね。

質問: 今後地域でこんなことをしてみたいということはありますか。イベントとか。

瀬尾: 今少し縦割りのなところもあるので、子どもを交えた催しができたらいいなと思っています。アイディアは持っています。

西野: いろいろやりたいことはありますが、やはり反対意見も出ます。例えばハロウィンパーティーを学校でやりたいと思っても、それだけではだめだと言われます。防災や防犯を絡めたハロウィンパーティーにしてくれという難しい注文が付きまします。地域活動協議会の補助金を使うには理屈が必要ですね。

板坂: 私は地域の若い人たちが「地域はいったい何をやっているのか」と疑問に思っているから参加できないのではないかと思います。例えばきっかけとして先ほどの防災や防犯を絡めたハロウィンパーティーをやって、防災のクイズに答えてハンコを集めるとお菓子がもらえるということ親子で参加してもらおう。それで子供たちのためにイベントをするのは楽しいでしょう、だからこの企画に次回から参加しませんかという感じで、やっていることをオープンにして参画してもらおうようなイベントをやりたいなと思います。そういうことで活動に参加する人の輪が広がることを期待しています。

山田: 私も今日職場でそんな話をしていました。抽象的に「地域をよくしたい」といっても広すぎてわかりづらい。そして地域に入ると面倒なことを頼まれるという不安を持っている新住民も多いのではないのでしょうか。だから地域活動をわかりやすく可視化していくことが大切ではないかと思っています。ハロウィンだけでも、餅つきだけでもいいから手伝ってくれたらいいよ、という感じで「それだけでいいんだ」「できる範囲で」ということなら余裕を持って参加できるようになるのではないかなと。

板坂: 40代でも夫婦で生活を楽しんでいる人もいるし、50代で子育ての手が離れる人もいるし、だれでも参加できる機会があればよいと思います。

質問: 地域での活動にコロナの影響があると思いますが、再開された活動はありますか(食事サービスなど)。

西野: 地域としては大阪府北区長が出す判断指標におおむね従っていき、今のところ全事業を止めています。10月から百歳体操を再開します。一方、ローレルハイツ北天満ではマンション独自で判断して百歳体操は継続して行っています。食事サービスも難しいですが配食というかたちでやっています。

山田: そういう情報はどこを見たらわかるのでしょうか。

西野: うちの地域では掲示板か回覧板ですね。福祉会館に行ってもらえれば情報が得られます。

質問: ローレルハイツ北天満は、住んでいない人にとってはどんな存在でしょうか。

瀬尾: もしローレルハイツ北天満がなければ、小学校は統廃合されていたでしょうね。

山田: 確かに梅田・中之島界隈の小学校は扇町小学校に統合されています。そういう意味ではローレルハイツ北天満の存在は住んでいない人にとっても価値のある建物ということですね。最後に一言お願いします。

西野: 菅北地域は日本で最初のセツルメントである北市民館ができた場所です。また、菅北小学校も日本で初めて養護教諭を置いた小学校だと聞いています。ですからもともとから「福祉のまち」ですので、そういう認識を改めて共有したいと思います。

山田: 菅北地域の方はぜひ菅北小学校の向かいにある菅北福祉会館にいらしてご相談ください。本日は菅北地域の皆さんにお越しいただきありがとうございました。

三本松: 楽しく聞かせていただきました。今回初めてZoomを使いましたがまさにインターネット上の番組にすることができると実感しました。ありがとうございました。

